

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成30年8月2日 (2018.8.2)

【公表番号】特表2017-534088(P2017-534088A)  
 【公表日】平成29年11月16日 (2017.11.16)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-044  
 【出願番号】特願2016-549227(P2016-549227)  
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

G 0 6 Q 10/10 (2012.01)

【 F I 】

G 0 6 Q 30/02 3 1 0

G 0 6 Q 10/10 3 4 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成30年6月19日 (2018.6.19)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

プロセッサを含むコンピューティング装置上で実行されるように構成されたコンピュータアプリケーションによって実行される方法であって、前記コンピュータアプリケーションは電子形態の小売カレンダーを処理するように構成され、前記方法は、

小売場所に置かれる小売品目について、

少なくとも前記プロセッサによって、少なくとも 1 つの入力データ構造から、前記小売場所で販売された前記小売品目の売上高データを表わす履歴需要データを読み取るステップと、

少なくとも前記プロセッサによって、前記小売カレンダー内の複数の未来の小売期間を含む予測時間ドメインを決定するステップと、

少なくとも前記プロセッサによって、前記予測時間ドメイン内のいつどこに追加小売期間が発生するか判断するステップとを含み、

前記予測時間ドメイン内で前記追加小売期間が発生するという判断に応じて、

( i ) 少なくとも前記プロセッサによって、前記履歴需要データに基づいて前記小売品目の売上高を予想する、前記小売品目の第 1 の予測需要データを生成するステップを含み、前記第 1 の予測需要データは、前記追加小売期間を除いた前記複数の未来の小売期間について生成され、

( i i ) 少なくとも前記プロセッサによって、前記第 1 の予測需要データの少なくとも一部に基づいて前記追加小売期間の前記小売品目の売上高を予想する、前記小売品目の第 2 の予測需要データを生成するステップを含み、

( i i i ) 少なくとも前記プロセッサによって、前記コンピュータアプリケーションを用いて、出力データ構造に、前記複数の未来の小売期間の前記第 1 の予測需要データをポピュレートし、前記追加小売期間の前記第 2 の予測需要データを含めることにより、前記出力データ構造を加工して一組の最終予測データを形成するステップを含む、方法。

【請求項 2】

前記履歴需要データ内のいつどこに前記追加小売期間が発生するか判断するステップをさらに含み、

前記履歴需要データ内で前記追加小売期間が発生すると判断されたときに、

( i ) 前記追加小売期間に対応する前記履歴需要データの一部を削除することにより、前記入力データ構造を加工して、前記入力データ構造内に修正された履歴需要データを形成するステップと、

( i i ) 前記修正された履歴需要データに基づいて前記小売品目の売上高を予想する、前記小売品目の第 3 の予測需要データを生成するステップとを含み、前記第 3 の予測需要データは前記複数の未来の小売期間に対して生成され、

( i i i ) 前記コンピュータアプリケーションを用いて、前記出力データ構造に、前記複数の未来の小売期間の前記第 3 の予測需要データをポピュレートすることにより、前記出力データ構造を加工して、前記一組の最終予測データを形成するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

複数の小売場所で販売される複数の小売品目に対して前記方法を繰返すステップをさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記追加小売期間に対応付けられたデータフラグを読み取るステップをさらに含み、前記予測時間ドメイン内または前記履歴需要データ内のいつどこに前記追加小売期間が発生するか判断するステップは、前記データフラグに基づく、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記追加小売期間の前記第 2 の予測需要データを生成するステップは、

前記追加小売期間の直前の小売期間の前記第 1 の予測需要データを複製し、複製された需要データを形成するステップと、

前記複製された需要データを前記追加小売期間に割当てるステップとを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記追加小売期間の前記第 2 の予測需要データを生成するステップは、

前記追加小売期間の直後の小売期間の前記第 1 の予測需要データを複製し、複製された需要データを形成するステップと、

前記複製された需要データを前記追加小売期間に割当てるステップとを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

前記追加小売期間の前記第 2 の予測需要データを生成するステップは、

前記予測時間ドメインの前記未来の小売期間の前記第 1 の予測需要データの少なくとも一部を平均し、平均需要データを形成するステップと、

前記平均需要データを前記追加小売期間に割当てるステップとを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

前記平均需要データは加重平均を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記追加小売期間は小売カレンダー年度内の 53 番目の週を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

コンピューティングシステムであって、

視覚ユーザインターフェイスロジックを備え、

前記視覚ユーザインターフェイスロジックは、

( i ) 小売カレンダーコンピュータアプリケーションに対応付けられた第 1 の入力データ構造にフラグデータを入力することを容易にするように構成され、前記フラグデータは、小売品目に対応付けられた履歴時間ドメインまたは予測時間ドメイン内のいつどこに追加小売期間が発生するかを示し、

( i i ) 前記履歴時間ドメインの中で小売場所において販売された前記小売品目に対

応付けられた履歴需要データを、前記小売カレンダーコンピュータアプリケーションに対応付けられた第2の入力データ構造に入力することを容易にするように構成され、

前記コンピューティングシステムはさらに、

前記予測時間ドメインにおける前記小売品目の小売売上高を予想する予測需要データを生成するように構成された需要予測ロジックを備え、

前記需要予測ロジックは、

(i) 前記追加小売期間が前記履歴時間ドメイン内または前記予測時間ドメイン内に発生しないときに前記予測需要データを生成するように構成された第1の予測モジュールと、

(ii) 前記追加小売期間が前記履歴時間ドメイン内に発生するときに前記予測需要データを生成するように構成された第2の予測モジュールと、

(iii) 前記追加小売期間が前記予測時間ドメイン内に発生するときに前記予測需要データを生成するように構成された第3の予測モジュールとを含み、

前記コンピューティングシステムはさらに、

前記フラグデータに応じて、前記需要予測ロジックの前記第1の予測モジュール、前記第2の予測モジュール、および前記第3の予測モジュールのうちの1つをトリガするように構成された切替ロジックを備える、コンピューティングシステム。

#### 【請求項11】

前記需要予測ロジックの前記第2の予測モジュールは、

前記追加小売期間に対応する前記履歴需要データの一部を削除することにより、前記第2の入力データ構造を加工して、前記第2の入力データ構造内に修正された履歴需要データを形成するように構成され、

前記修正された履歴需要データに基づいて、前記予測時間ドメインにおける前記小売場所の前記小売品目の前記予測需要データを生成するように構成される、請求項10に記載のコンピューティングシステム。

#### 【請求項12】

前記需要予測ロジックの前記第3の予測モジュールは、

前記履歴需要データに基づいて、前記追加小売期間を除いた前記予測時間ドメインの小売期間における前記小売場所の前記小売品目の前記予測需要データの第1の部分の生成するように構成され、

前記予測需要データの第1の部分の少なくとも一部に基づいて、前記追加小売期間の前記小売場所の前記小売品目の前記予測需要データの第2の部分の生成するように構成される、請求項10または11に記載のコンピューティングシステム。

#### 【請求項13】

前記小売カレンダーコンピュータアプリケーションに対応付けられた少なくともグラフィカルユーザインターフェイスとユーザとの対話を表示し容易にするように構成された表示画面をさらに備え、前記視覚ユーザインターフェイスロジックは、前記グラフィカルユーザインターフェイスを生成するように構成される、請求項10～12のいずれか1項に記載のコンピューティングシステム。

#### 【請求項14】

前記需要予測ロジックは、出力データ構造に、前記予測時間ドメインの前記予測需要データをポピュレートすることにより、前記小売カレンダーコンピュータアプリケーションに対応付けられた出力データ構造を加工して一組の最終予測データを形成するように構成される、請求項13に記載のコンピューティングシステム。

#### 【請求項15】

前記需要予測ロジックは、前記視覚ユーザインターフェイスロジックと有効に対話することにより、前記表示画面上に前記グラフィカルユーザインターフェイスを介して前記出力データ構造の前記一組の最終予測データを表示することを容易にするように構成される、請求項14に記載のコンピューティングシステム。